

～京都で人とつながる 夢がひろがる～

# 京都市はたちニュース

令和8年京都市はたちを祝う記念式典を開催！

## 「はたちを祝う記念式典」に 多くの皆さんに ご参加いただきました。

1月12日（月・祝）にみやこめっせ（京都市勧業館）で開催した「令和8年京都市はたちを祝う記念式典」には、5,721名の方が参加され、厳粛な中にも温かみのある式典となりました。

優雅な音色と華麗な踊りで  
二十歳を迎える方をお迎えしました！

式典に先立ち、京都市立芸術大学「エトワールカルテット」による弦楽四重奏、京都ハンナリーズオフィシャルチアダンサー「はんなりん」によるチアリーディング、「京小町踊り子隊」によるお祝いの踊り、祇園甲部歌舞会による二十歳の舞で、会場がお祝いムードに包まれました。



◀京都市立芸術大学「エトワールカルテット」  
▼「京小町踊り子隊」



▲京都ハンナリーズオフィシャルチアダンサー「はんなりん」



▶「祇園甲部歌舞会」



京都を代表する俳優「吉岡里帆」さんからお祝いメッセージをいただきました！

京都を代表する俳優で、日本アカデミー賞最優秀助演女優賞をはじめとする数多くの賞をご受賞され、NHK大河ドラマ『豊臣兄弟！』にご出演中の「吉岡里帆」さんから、式典参加者の皆さんに温かいメッセージをいただきました。



### 松井市長から 二十歳を迎えられる皆様へ

松井孝治京都市長から、「京都は自ら問いを立てて、人生を考えるのに世界で一番の町である。二十歳の節目に『問いを立てる』ことを心掛け、これからの人生を歩んでいただきたい」との祝辞がありました。



### 下村議長から 二十歳を迎えられる皆様へ

下村あきら京都市会議長から、「何事にも果敢に挑戦し、試行錯誤を積み重ねていただきたい」「自ら考え行動する主権者として、政治や議会に関心を持ち、積極的に社会参画をしていただきたい」との祝辞が贈られました。



### 華包贈呈

吉田良比呂京都市副市長、稲田新吾京都市教育長、澤村悦弘ユース21京都市理事長から「二十歳の誓い」代表者に、「華包（はなつつみ）（※）」が贈られました。

※「和紙」と「いけばな」のエッセンスを融合し、和紙をのしのように折り、季節の花を挿した。江戸時代の伝書に残る「華包」を京都の若手華道家が流派を超えて、現代に復活させた。



にちを祝う記念:  
主催 京都市教育委員会

参加者代表による「二十歳の誓い」



伴 和真さん

NYのド田舎で生まれ、転校を繰り返した僕には、「地元」と呼べる場所がなく、夏休みに京都の祖母の家から室町小学校に通うことが大切な時間でした。そして「日本で高校生活を送る」という憧れから、編入試験を受け、日本にやってきました。

今は小さい頃から好きだったカメラを武器に、フリーランスとして世界を旅しながら映像プロジェクトや俳優活動をしています。

周りに馴染めず、たくさんの壁にぶつかっても前に進めたのは、家族や支えてくれた方のおかげです。

「正しい道を選ぶのではなく、選んだ道を正しくしなさい。」

恩師の言葉を忘れず、成人としての自由と責任を胸に、これからも挑戦を続けていきます。



宮本 紗有さん

私は中学生の頃、理由なく学校へ行けなくなり、深い絶望の中で摂食障害を患いました。そんな私を救ったのは、感情を表現できるダンスでした。ダンスの先生の支えにより、心身を回復させる中、書き溜めた詩が2022年「第20回高岡・山町ボエム大賞」で最優秀賞を受賞。その2年後、詩を書き、読み合うワークショップ「耳に詩を、心に詩を。」を始め、詩人として、表現者として、社会に関わる道を歩き始めました。

「完璧ではない自分」だからこそ、人の痛みに寄り添えると信じています。これからは、支えられるだけでなく私も誰かを支えられる人になり、詩を通して、人と人が温かくつながる未来を紡いでいきたいです。



岡島 泰暉さん

私はこれまで、挑戦のたびに限界を感じてきました。小学生から打ち込んだアメフトでは、中学受験を失敗し、コロナ禍で渡米断念。大学では大怪我でドクターストップを受け、自分の選んできた道が本当に正しかったのか迷う日々が続きました。

しかし、怪我の不安の中、飛び込んだアメリカ留学では、言葉や差別の壁にぶつかりながら、生物の授業で満点を越える104点をもらい、現在は大学に通いながら外資系企業で働いています。

この20年間で感じたことは、挫折や失敗は無駄にはならず、そこで得た経験は必ず別の場面で生きるということです。自分にできる一歩を大切に、これからの人生を誠実に歩いていきます。



宮川 莉月さん

私は3歳からキッズモデルをしてきましたが、家庭の事情で活動を断念。そして、高校卒業のタイミングで両親が離婚。父から大学の入学金が振り込まれず、悔しさと絶望の中、進学を諦めるしかありませんでした。

でも、ヒーローになりたいという幼い頃の夢を思い出し、事務所オーディションを受け合格。現在は少しずつアクション俳優として活動し、生活費と学費を賄いながら東京で生活しています。

夢の実現のため、如何なる困難も努力も惜しみません。いつか、私の存在が誰かの希望になるような、そんな人間になります。人の心を動かし笑顔を生み出す最高のエンターテイナー、最強のアクション俳優になります。

お祝いムード一色のイベント会場！

式典終了後のイベント会場では、はたちの集いコーナーなどで友人との再会を喜び合いながら、趣向を凝らした各ブースの催しを心ゆくまで満喫する光景が広がりました。

会場では、京都市学校給食研究会が振る舞う懐かしの給食、「プリプリ中華いため」や「三色ゼリー」が当時の思い出を呼び起こし、新洞学区4団体の「振舞い餅」や裏千家淡交会青年部の「お茶席」が心温まるひとときを演出していました。また、プロの写真家による「撮影スタジオ」や京都北山丸太生産協同組合の「丸太担ぎコーナー」、協賛企業ブースなど、京都の魅力に触れる体験等を通じて、一生に一度の門出を仲間と共に心に刻んでいました。



懐かしの給食コーナー



撮影スタジオ



お茶席



企業ブース



京都ハンナリーズブース



餅つき・振る舞い餅コーナー

思い出成人式

様々な理由で二十歳の時に式典に参加できなかった方で、改めて式典に参加したい方をご招待しています。式典当日は、二十歳を迎えられた方と一緒に参加し、節目の日を迎えました。

1/2成人式

小学校4年生（10歳）が、これまでの成長を振り返り、将来を考えるきっかけとする「1/2成人式」。当日は会場の受付で「おめでとうございます！」と声をかけながら、二十歳の参加者に記念品を渡し、その後、参加者とともに式典にも参加しました。

